

問**新型コロナによる市内商店への影響は**

新型コロナの影響により店舗を閉店したり、サービスを縮小したりする事業者が見受けられる。コロナによる市内商店への影響を市はどのように把握しているか。また、今後はウィズコロナ下で、実際に市内のお店を利用して頂けるような支援策を検討できないか。

答**市内商工業者の経営への影響は大きい**

商工会会員の廃業者数や事業所等賃料補助事業の実績により、コロナ禍で多くの市内商工業者の売上高が減少し、経営にも大きな影響が及んでいると認識している。今後は商工会等と連携しながら、街バルなど市内商業への振興策を更に実施していく。



渡辺聡一郎 議員
(新風の会)



篠津小学校

問**学校施設の老朽化対策と質の向上を**

学校施設の老朽化が進んでいる。特に篠津小学校は老朽化が著しく、早急な対応が必要だ。建て替え等の具体的なスケジュールを策定すべきではないか。また、トイレの洋式化はもちろん床のドライ化等を実施し、「明るく綺麗な」トイレ空間を創ることが必要だ。

答**実行計画を策定し取り組んでいく**

個別施設計画では、篠津小学校を改築する施設として位置付けている。具体的なスケジュールは、公共施設全体の統合再編計画として実行計画を策定していく。トイレ洋式化や床のドライ化等の施設機能向上についても長寿命化改修や改築に合わせて進めていく。

問**誰のための学校教育なのか**

子どもを犠牲にし、教員を守るために学校はあるのか。いじめや教員による不適切指導で傷ついた子ども達を救うのは、誰なのか。教育委員会点検・評価報告書に記載された言葉どおり、市民への説明責任を果たし、教育長は子ども達を守る姿勢を見せてほしい。

答**子ども達の今や未来のために学校はある**

学校は、子ども達のためにある。いじめや教員による不適切指導で傷ついた子ども達のため、校長が教員に、教育委員会が校長や教員に対し指導を行う。子ども達のためという原点に立ち返り、教育委員会が学校、保護者、地域、関係機関等と連携し対応していく。



野々口真由美 議員
(TSUNAGU)



石原富子 議員
(TSUNAGU)

問**子宮頸がんワクチンの再開について**

4月から9年間停止していたが再開された。現在もこのワクチンによる重篤な副反応で苦しんでいる被害者は多い。9年の間にワクチンの成分に変化があり、副反応に対する治療法が確立したから再開したのか。なぜこのタイミングなのか。市は立ち止まる勇気を。

答**メリットとリスクを十分に情報提供する**

国の専門家会議で、ワクチンの安全性に特段の懸念がなく、接種の有効性が副反応のリスクを上回ると認められたため、勧奨が再開された。市は、対象者や保護者が接種のメリット、リスクをしっかりと検討・判断できるように、十分な情報提供に努めていく。